

平成 28 年度 徳倉小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市役所地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

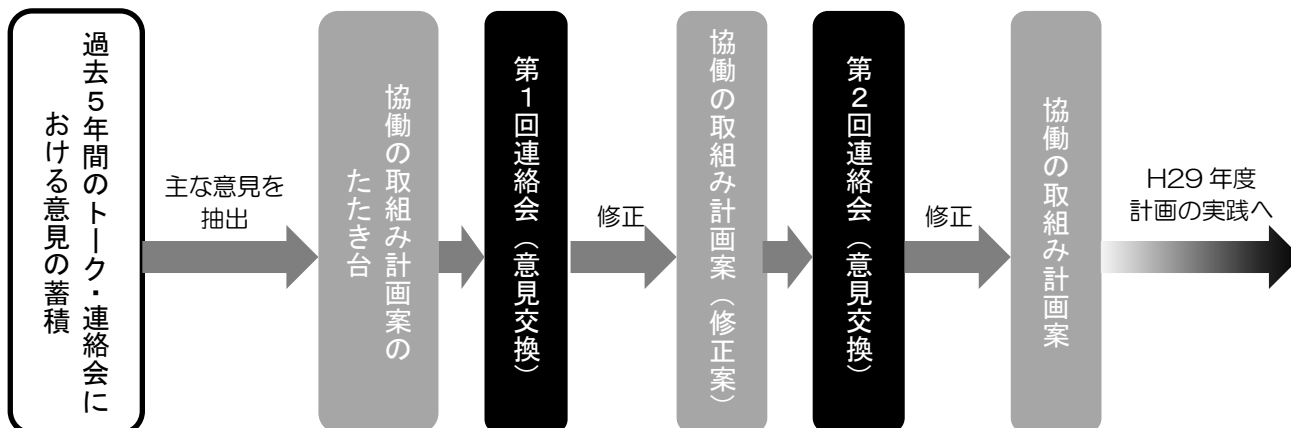
7月19日（火）に開催された「徳倉小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

■開催概要■

日時	平成 28 年 7 月 19 日（火） 19:00～20:40		
会場	北上文化プラザ		
参加団体 (20名)	幸原町自治会 徳倉第1町内会 徳倉第2町内会 徳倉第3町内会 徳倉第4町内会 交通安全母の会 徳倉幼稚園	徳倉小学校 徳倉小学校PTA 北中学校 北中学校PTA 北上中学校 スクールガード 徳倉1丁目子ども会	環境美化推進委員会 体育振興会 民生委員・児童委員 北上地区地域包括支援センター 保護司会

■今年度の連絡会の流れ（予定）■



地域の情報交換のまとめ

●連絡会の中で、地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力のお願い～

- ◆保護司会：罪を犯した方の立ち直りや地元に戻ってからの住居や仕事場の調整などを実施。7月「社会を明るくする運動」期間。皆様の理解とご協力をお願いします。
- ◆徳倉第4町内会：夏休み期間、夕方のパトロールを実施。小学生のお孫さんのいる方にスクールガードの協力をしてほしい。
- ◆北中学校 PTA：9/30「飛翼祭文化の部」を開催。地域の方もお越し下さい。裏門にある花壇で花を育ててくれるボランティアを募集中。夏より南校舎新築工事が開始。
- ◆体育振興会：10/2「市民運動会」では新種目追加、ポスター制作者の表彰、スポーツ少年団の参加など、参加人数向上に向け計画中。11/6「グラウンドゴルフ大会」開催。
- ◆徳倉幼稚園：毎週火曜日「廃品回収」実施、幼稚園玄関に置いてください。園児が自然と対話できる場所が減っている、安心して遊べる場所があればご一報ください。

意見交換のまとめ

- 第1回連絡会では、2つのグループに分かれて計画案のたたき台に関する意見交換をしました。
- この結果をもとに協働の取組み計画案を修正し、第2回連絡会で皆さんに再びご意見をいただく予定です。

こんな小学校区にしたい

【Aグループ】

●きずな・コミュニティ

- ・人と人とのきずな
- ・子どもも年寄りもコミュニティ
- ・家族のような

●安心・安全

- ・安心、安全

●やさしい

- ・気づかいのできる町
- ・やさしい町
- ・あたたかい町

●その他

- ・笑顔いっぱい徳倉は心のふる里

【Bグループ】

●きずな

- ・きずなの強い校区
- ・人と人をつなぐ
- ・笑顔、人間関係

●安心・安全・見守り・あいさつ

- ・子どもの安心、安全な小学校区にしたい
- ・見守り
- ・安全な町づくり、あいさつのある
- ・あいさつでつなごう徳倉学区

●その他

- ・お互い様で
- ・出席率が高い

お困りごと・現在の状況

	Aグループ	Bグループ
子どもの安全	・登下校時（スクールガード）は顔が分かり、あいさつがあるが、私服になると違う目で見られる。	・小学生の名札が裏返しであるため、名前で呼ぶことができない。
高齢者の見守り	・高齢者本人がSOSを出さない。 ・要介護者名簿の扱いに困っている町内が多いのではないかと？障害をさらすことで、支援を求める人を受け止められない。	・高齢者の見回り活動を民生委員が実施。
地域のつながり	・働く世代は車で移動することが多く、顔が見えない。顔を合わせない。 ・子どもからあいさつが返ってこない。 ・大人同士があいさつしないので、子どももしない。 ・親子間のあいさつ促進を呼びかけている。（幼稚園）	・小学生の保護者（20代後半～30・40代）を引っ張り出す方法のアイデアがほしい。（子育て世代との橋渡しには工夫が必要）
災害対策	・小中学生が防災訓練に参加しても、やることがない。	

	Aグループ	Bグループ
担い手 不足		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの限界。(ボランティアでやれることには限りがある) ・自治会長、民生委員の担い手が少ない。 ・どの活動においても実際に取り組むためには、強い中心となるリーダーや組織が必要。

取組みたいこと

子どもが安全に生活できる地域づくり		
	Aグループ	Bグループ
スクール ガード	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールガードは良い活動だと思う。 ・子どもが安全に登下校できる地域協力。<u>スクールガードさんと協力。</u> ・<u>午前の担当、午後の担当を作り、人数を増やす。</u> 	
ながらパ トロール	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人に参加できる「<u>ながら</u>」パトロールの実施。 ・子どもの<u>下校時間に家の前で。</u> 	<p>※手軽に、お金をかけず、できる範囲でやる(既存の取組み+α) ことが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家にいる人が家の前であいさつをする。 ・<u>ながらパトロールを広める。</u> ・<u>下校時のウォーキング(腕章)が良い。</u>
腕章を つける	<ul style="list-style-type: none"> ・三島警察署管内に防犯協会というのがあって、腕章を配っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の大人に<u>腕章を配布。</u> ・バッジを付けた住民を見ると、子どもは安心すると思うので良いが、予算の問題がある。
掲示物	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事あるが、集まりが悪い。広報、ポスター等にて多くの人に知らせること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全を意識するように、<u>定期的に子ども達にポスターを描いてもらい、掲示する。</u> ・掲示板だけでは小さすぎる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・カーブミラーの必要な場所、横断歩道など、<u>通学路の安全性向上</u>を図りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>小学生の犯罪防止。</u>

互いに連携して高齢者を支えよう		
	A グループ	B グループ
関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・おせっかいお婆さんの募集。話をしたい高齢者は多いので、話を聞いてあげる等。 ・高齢者が <u>SOS</u> を出せる関係づくりが大切。 ・支える担い手を発掘する。 ・日頃から、<u>高齢者や障がい者をサポートしている団体と連絡をとる。</u> 	
把握・安否確認		<ul style="list-style-type: none"> ・<u>組長が広報誌を直接手渡す。</u> ・<u>敬老祝い金</u>で高齢者を把握できる。 ・<u>安否表明の工夫</u>（黄色いハンカチ他）。 →声掛けしやすくなる。
居場所づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まれる<u>居場所作り</u>が必要。 ・地域で、高齢者が持っている力が<u>役に立てる場を作る。</u> 	
防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練をもっと体系立ててやるとよいのでは？<u>中高生にも役割を与える。</u> ・<u>高齢者の運搬</u>など、中高生ができないか？ 	
廃品回収 × 高齢者		<p>※手軽に、お金をかけず、できる範囲でやる（既存の取組み+α）ことが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会の廃品回収をうまく利用し、高齢者のお宅を回っていく。 →子ども会の収益になり、高齢者も楽になる。

あいさつから始めるきずなづくり		
	A グループ	B グループ
あいさつ運動	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動。誰にでも声をかければ、行動のもととなる。 	<p>※手軽に、お金をかけず、できる範囲でやる（既存の取組み+α）ことが大切。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プラスワンのあいさつ。<u>あいさつ+一声掛け合う。</u> ・月1回程度、あいさつ運動を<u>一斉に行う。</u> ・<u>良くできている人をほめる、広める。</u>
大人からあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ・働く世代のコミュニケーションが大切。子どもは大人の真似をする。<u>大人同士のあいさつを増やす。</u> ・<u>大人から子ども達へ</u>の声掛け、あいさつ。大人はめげずに、<u>あいさつをかけ続ける。</u> ・あいさつは<u>家庭から</u>広げよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつは<u>親から始める。</u>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつのできる<u>関係を作る。</u> ・関係性など気にせず、地域内、<u>誰にでもあいさつする</u>という意識でいることが大切。 ・あいさつは基本、声掛け合いが大切。 	

意見交換の結果を踏まえた「きずながつくる協働の取組み計画案」の修正の主なポイント

◆こんな小学校区にしたい

- ・「きずな」、「あたたかい」、「安心・安全」などの言葉を用いる。
- ・「笑顔」、「つなぐ」などの言葉を用いる。

◆お困りごと・現在の状況

- ・あいさつをしない子どもがいるが、あいさつしない大人もいる旨を追記する。
- ・地域の活動に小学生の保護者を引っ張り出すことが難しい旨を追記する。
- ・新たに取り組みを始めるとしても担い手が不足しており、既存の活動もボランティアでは限界があることを追記する。

◆取組みたいこと

<子どもが安全に生活できる地域づくり>

- ・手軽に、できる範囲で取り組むことを追記する。

<互いに連携して高齢者を支えよう>

- ・子ども会の廃品回収の時に、高齢者世帯を訪ねて不用品がないか確認するとともに、見守りを兼ねることを追記する。

<あいさつから始めるきずなづくり>

- ・地域全体でのあいさつ運動について、頻度を月1回程度と追記する。